

レーザーマーカーを使ったグラファイトシートの加工

第43回天文学に関する技術シンポジウム 2024年1月19日

国立天文台先端技術センターシステム設計グループ 熱構造設計チーム 清水 莉沙





本発表の目次

レーザーマーカーのすすめ

- レーザーマーカーとは
- レーザーマーカーの方式
- 国立天文台にあるレーザーマーカー
- こんなことができます
- 加工作業の流れ
- レーザー波長と加工性

グラファイトシートを加工する

- グラファイトシートの加工の課題
- ファイバーレーザー (20W)でのカット
- レーザーダイオード (3.5 W)でのカット
- CO₂レーザー (30 W)でのカット
- まとめ





レーザーマーカーとは

レーザー光を金属や樹脂などに照射して表面状態を変化させて刻印を行う加工機



創新テック社 HSG-Z4030 30 W CO₂レーザー



Smart DIYs社 LM110F 20 Wファイバーレーザー





レーザーマーカーのハードルが低くなっている



CAINZ DIY Style

DIY Style とは キャワークシホームセシターで

大きい装置も レンタル可能!?

※ご利用時間には準備・片付けの時間も含みます。ご予約の際は時間に余みをもってお申込みください。
※ご予約が続いている場合は、作業が終了していなくてもご利用を終了して頂きます。



3Dプリンター MF-1100

デジタル機械の紹介

PLAを積み重ねて立体の形を造る新 しい機械です。

造形可能サイ

ズ:200×200×170mm

ご利用の注意事項

30分350円 (PLA樹脂代込)

ご予約の際は基本的に1時間単位で

お願いします ※このサービスはお

※このサービスはお客様にデータの 作成から出力までを行ってもらいま す。STLファイルでデータをお持ち ください。

サービス詳細を見る(PDF形式)利用マニュアルを見る(PDF形式)



3Dプリンター ダヴィンチ 1.0 Pro 3in1

造形可能サイ ズ: 200×190×200mm

ご利用の注意事項

30分350円 (PLA樹脂代込)

ご予約の際は基本的に1時間単位で

お願いします ※このサービスはお客様にデータの

作成から出力までを行ってもらいま す。STLファイルでデータをお持ち ください。

利用マニュアルを見る (PDF形式)



レーザー加工機

レーザーでカットしたり、彫刻した りできる機械です。

※加工できない素材もありますので、詳しくは係員にお尋ねくださ

最大加工エリア: 720×430mm

ご利用の注意事項

30分2,500円 (時間予約制) ※このサービスはお客様にデータの 作成から出力までを行ってもらいま す。

>サービス詳細を見る(PDF形式)

操作マニュアルを見る(PDF形式)

レーザー加工できる素材・できない素材 (PDF形式)

レーザー加工できる素材・できない素材:鶴ヶ島店のみ(PDF形 ず)

https://kakaku.com/search_results/%83%8C%81%5B%83U %81%5B%92%A4%8D%8F%8B%40/





レーザーマーカーの方式

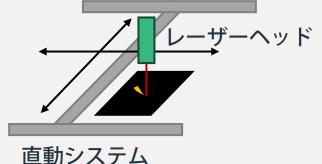
ガルバノスキャナー方式



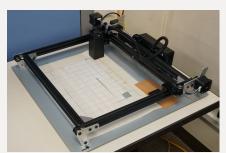
反射鏡を用いてレーザ光を任意の方向に制御し レーザ光をピンポイントで照射する

- ○ヘッドの位置が固定されていてコンパクト
- ○加工の時間が短く済む
- ×エリア外側に行くにつれて像が歪む
- ×加工可能エリアが狭い

XYプロッター方式







- ヘッド自体をXY方向に動作しレーザー照射する
 - ×加工機のサイズが大きくなる
 - ×ヘッドが動くため加工に時間がかかる
 - ○エリア依存の像の歪みが小さい
 - ○加工可能エリアが広い



国内メーカー

10万円程度



国立天文台にあるレーザーマーカー



 $300 \times 230 \,\mathrm{mm}$

445 nmレーザーダイオード 3.5 W

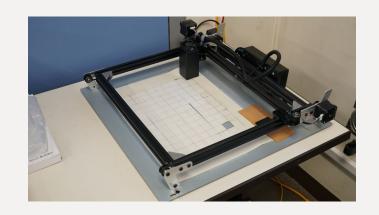
ベクター加工、ラスター加工

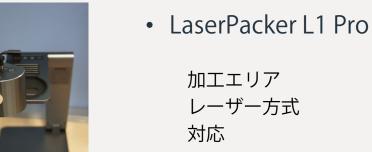
png、jpeg、jpg、bmp、gif、tiff、tif、svg、dxf

家庭用電源 AC100V~240 V

540×485×140 mm(ケーブル含まず)

約3 kg





レーザー方式 雷源 サイズ 重さ

加工エリア

レーザー方式

対応加工方式

対応ファイル

電源

重さ

サイズ

100×100 mm 405nmレーザーダイオード 0.5 W スマートフォンアプリで操作 Type-C 5 V, 2 A 65×61×53 mm(本体のみ) 約860 g (本体のみ)

Amazonで買える 5~7万円程度





国内メーカー

業務用



国立天文台にあるレーザーマーカー



• SMART DIYs社(山梨県) LM110F

ファイバーレーザー 1064 nm 20 W レーザー方式

スポット径 約0.05 mm (理論値)

周波数 30~60 Khz 1~4000 Khz

パルス幅 120 ns $2\sim500 \text{ ns}$

最高速度 ≤4000 mm/s 繰り返し精度 $\pm 0.03 \, \text{mm}$

サイズ

加工エリア 幅110×奥行110 mm

加工できる素材の厚さ(高さ) 最大140 mm

素材設置可能エリア

電源

消費電力

重量

対応画像形式

幅425 × 奥行500 × 高さ644 mm (突起物含まず)

幅365 × 奥行398 mm

AC 100 V 50/60 Hz

275 W

約50 kg

ビットマップファイル:bmp / jpg / jpeg / gif / tga / png / tif / tiff

ベクターファイル:ai (ver.8) / plt / dxf / jpc / svg / nc / g / gbr / bot / dst





こんなことができます



木材への刻印

Smart DIYs社 FABOOL Laser Mini 3.5 Wレーザーダイオード 出力によって濃さを調整できる



アルミニウムの抜き加工

Smart DIYs社 LM110F 20 Wファイバーレーザー 出力や加工回数次第で 薄い金属であればカット可能



色紙への刻印

Smart DIYs社 FABOOL Laser Mini 3.5 Wレーザーダイオード 出力を弱めて表層だけを削る



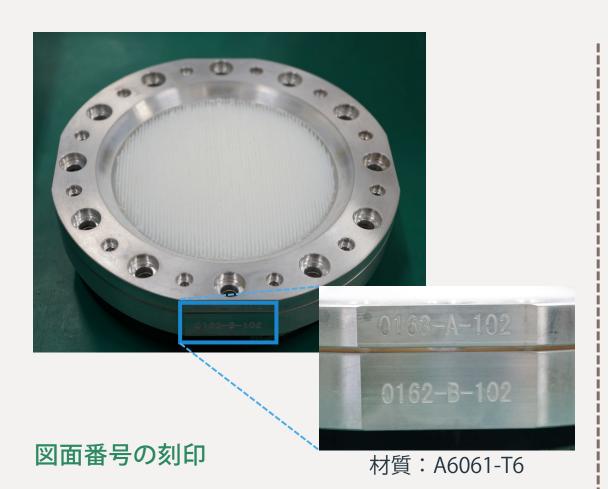
アルマイトへのイラスト刻印

Smart DIYs社 LM110F 20 Wファイバーレーザー SVG、DXG形式のベクターデータほか JPEG、PNG形式の画像データが使用可能 (アプリケーションによる)





こんなことができます 実用例 Smart DIYs社 LM110Fを使用



• 図面情報を加工品に記載することで 作業効率のアップやトレーサビリティの確保が可能



材質:紙(黒)



マスクを通して星形にした光を重ね合わせた様子

マスクの製作

- 繰り返し精度に優れるので同じサイズ、同じ形状にできる
- 複雑な形状も可能
- 条件出しさえ出来れば一枚当たり数秒で加工できる





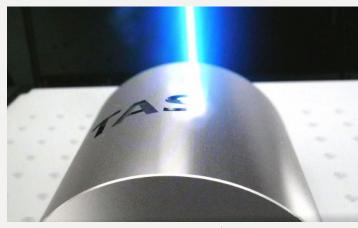
こんなことができるらしいです



https://www.smartdiys.com/blog/lm110m-color-marking/

カラーマーキング

ステンレスやチタン表面に酸化被膜を作り、 被膜と金属面との光の干渉により発色を制御 塗料ではないなので色が落ちない



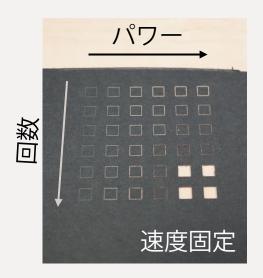
https://ystaste.com/3d-fiber-laser/

3Dマーキング レーザー光の焦点をZ軸方向に移動 曲面形状にマーキング





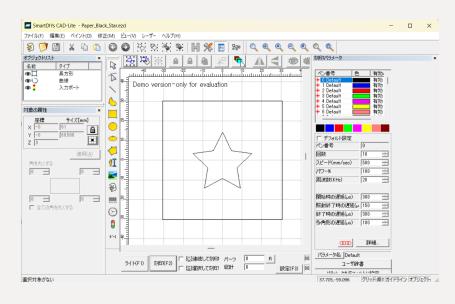
加工作業の流れ (LM110Fを例にして)



条件だし

加工パラメータを決定する マトリクスを作るとわかりやすい

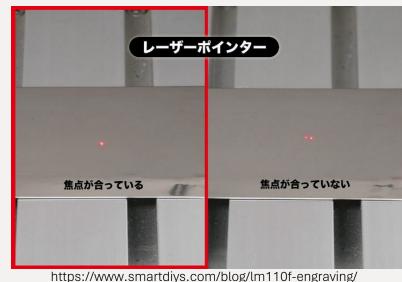
速度:レーザーの速さ(mm/sec) パワー:最大出力に対するパワー(%) 回数:レーザーを走らせる回数(回)



データの作成

付属ソフトでパスを作成

LM110Fでは 画像やベクターファイルも 扱うことが出来る



焦点あわせ

加工対象を置いて、光源と加工面の 位置を指定の距離にする

LM110Fでは2つのレーザー光を合わせる 定規で合わせるものもある





加工作業の流れ (LM110Fを例にして)



位置あわせ

ソフトにはレーザーが走る位置を 表示させる機能がついている 加工したい位置にレーザーが来るかを 確認する



パラメータ入力

条件だしで決めた パラメータを データに入力する



加工

加工ソフトを介して レーザーの照射を行う





注意しなくてはいけないこと

- レーザーを使用するので、安全性については要確認
- ・ 薄物を加工するときはステージに傷がつかないようにする
- 加工可能な材料は限られる





レーザー加工の原理

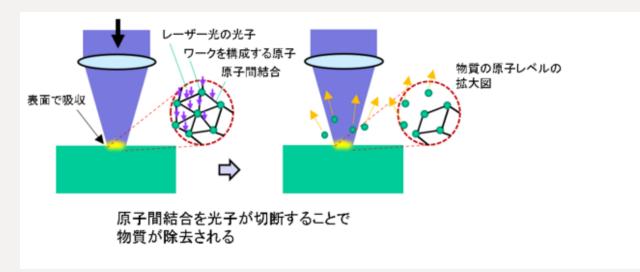
熱加工

- 光子エネルギーが小さい長波長 (ファイバー、CO₂)
- 材料にレーザー光が吸収されることで温度が上昇 分子や原子の結合を切断し照射部表面が瞬間的に 材料を溶融することで除去する加工

熱伝導により 表面で吸収 周囲を加熱 \Rightarrow ワーク 温度が沸点を超える ことで爆発的に物質 が除去される

アブレーション加工

- 光子エネルギーが大きい短波長 (紫外線)
- 分解・飛散する非熱的加工



https://www.uht.co.jp/ja/technical/machine/post_4.html





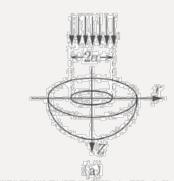
熱加工プロセスの理論式 レーザーハンドブック 34.2.1より

半無限体上でビーム半径α [m] の一様強度分布のレーザー光が吸収された場合のビーム中心軸(z軸)上での温度分布

$$T_{z,t} = \frac{2P}{\pi\alpha^2} \frac{\sqrt{\chi t}}{K} \left(\operatorname{ierfc} \frac{z}{2\sqrt{\chi t}} - \operatorname{ierfc} \frac{\sqrt{z^2 + \alpha^2}}{2\sqrt{\chi t}} \right)$$

$$\operatorname{ierfc} x = \frac{1}{\sqrt{\pi}} e^{-x^2} - x \cdot \operatorname{erfc} x$$

$$\operatorname{erfc} x = 1 - \frac{2}{\sqrt{\pi}} \int_0^x e^{-y^2} dy$$



ただし、 $P: 吸収されたレーザーパワー[J/s], \chi: 熱拡散率 = K/<math>\rho \cdot C$ [m²/s], $K: 熱伝導率 [J/m \cdot s \cdot K],$ ρ: 密度[g/m³], C: 比熱 [J/g・K], t:レーザー照射時間 [s], α: ビーム半径 [m]

材料表面での温度は、 z = 0であるので

$$T_{0,t} = \frac{2P}{\pi\alpha^2} \frac{\sqrt{\chi t}}{K} \left(\frac{1}{\sqrt{\pi}} - \operatorname{ierfc} \frac{\alpha}{2\sqrt{\chi t}} \right)$$
 つまり…
・ レーザーのパワーが強い

レーザー照射時間が十分長い場合(t→∞)

$$T_{0,\infty} = \frac{P}{\pi K \alpha}$$

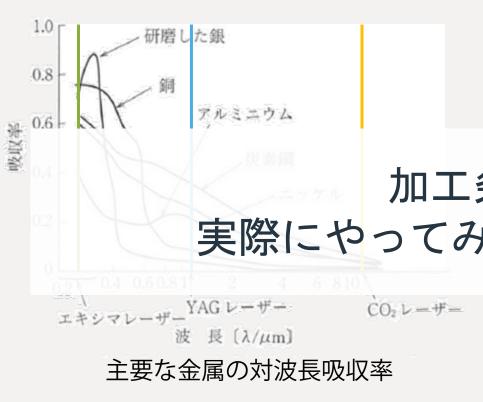
この温度が加工対象の沸点を超えれば加工可能

- ・ビーム半径が小さい
- ・加工対象がレーザー光を吸収しやすい
- |・加工対象の熱伝導率が悪い **加工対象**





レーザー波長と加工性



主に使われるレーザー

UVレーザー : 355 nm

YAG/ファイバーレーザー : 1064 nm

CO2レーザー : 9.2 - 10.8 µm

加工対象の吸収率によって、最適なレ

加工条件次第なので	
ってみないことにはわか	いらない

https://optipedia.info/laser/handbook/laser-handbook-8th-section/34-2/

如門	\bigcirc	X	X
アクリル	X	×	\bigcirc
紙	0	×	\bigcirc
木	\bigcirc	×	\bigcirc

https://www.smartdiys.com/blog/laser-marker/

グラファイトシートを加工する









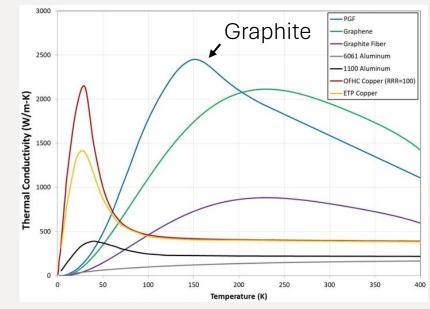


18

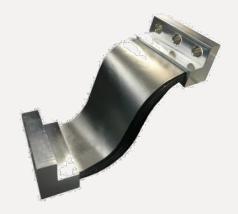
s/4902505409011/

グラファイト:炭素からなる元素鉱物

熱伝導率が非常に良い、柔軟性に優れる、軽量 →熱パスに良い材料(特に宇宙機)



https://www.techapps.com/thermal-straps 温度に対する各材料の熱伝導率



グラファイトストラップ (TAI社)

https://www.techapps.com/blog/tai-introduces-the-x-series-the-worlds-only-pgs-and-graphene-based-thermal-strap-standard-product-line

グラファイトの熱パスを作るにあたって… 面外方向熱伝導率や、接触抵抗など 分かっていないパラメータも多い

設計上の調査のため 実際にグラファイト ストラップを作成して性能測定することになった

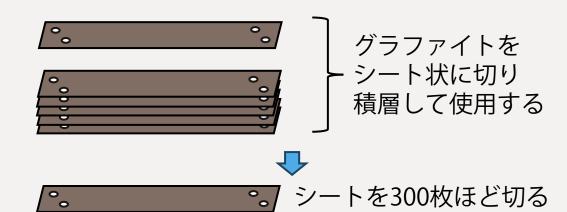




グラファイトの加工の課題



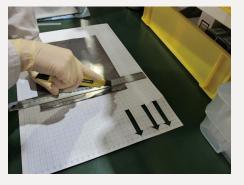
栃木カネカ製 宇宙用グラファイトシート 40 μm グラファイトシート寸法:196mmx260mm





シートの加工はカッターで切る、が おすすめです

薄いので破れたりする





カッターで切るのは確かに切りやすいが… 作成する量が多く、ばらつきもできる。穴あけも面倒… →薄くて、同じ形状を大量に抜くならレーザーはどう!?

レーザーで切れますか?





グラファイトは熱伝導率がよいので レーザー加工はできません

19



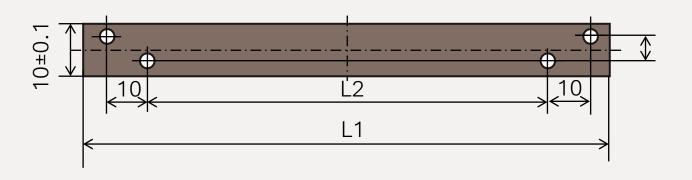


形状

• 幅 10 mm±0.1 mm

• 長さ 3種類±0.2 mm

• Φ3.4 mm穴 直径+0.1 mm



No	L1	L2
1	90 mm	60±0.2 mm
2	140 mm	110±0.2 mm
3	190 mm	160±0.2 mm

熱伝導率を測定するため、3種類の長さのシートを製作する

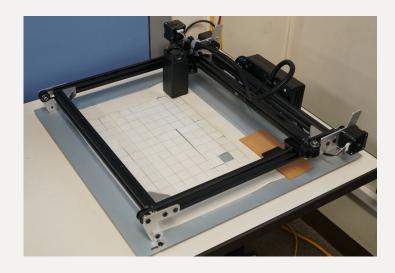




試したレーザー加工機



Smart DIYs社 LM110F (国立天文台)



Smart DIYs社 FABOOL Laser Mini (国立天文台)



創新テック社 HSG-Z4030 (宇宙科学研究所)

出力 レーザーマーカー 20 W

波長 ファイバーレーザー (1064 nm)

エリア 狭い(110 mmx110 mm)

レーザーマーカー 3.5 W

ダイオードレーザー (445 nm)

広い(300 mm x 230 mm)

レーザー加工機 30 W

CO₂ (10.6 μm)

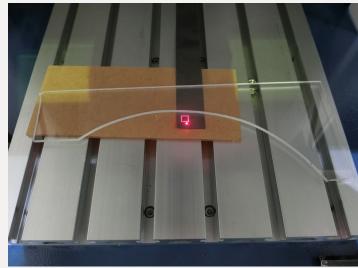
広い(400 mm x 300 mm)





LM110F





SMART DIYs社(山梨県) LM110F



1064 nm 20 W

パワー 60%

スピード 1000 mm/sec

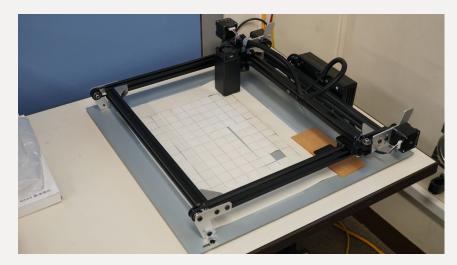
回数 2回

切り落とすことが出来た〇 中心から離れると像の歪みが大きくなるが 再現性がある

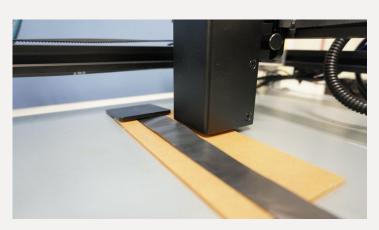




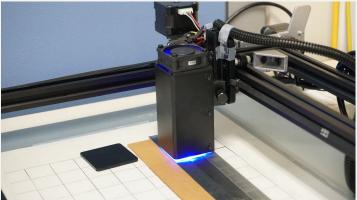
FABOOL Laser Mini



SMART DIYs社(山梨県) FABOOL laser mini



2024/01/19

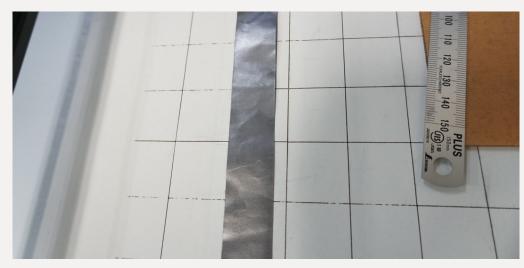


445 nm 3.5 W

パワー 100%

スピード 1000 mm/min

全く跡が残らず×



加工後





HSG-Z4030



宇宙研工作室にあるCO2レーザー加工機





紙でのテスト加工では 精度も繰り返し精度も良好

設定値	実測値
10.0mm	9.8mm
10.4mm	9.94mm
90.0mm	89.70mm
90.4mm	90.01mm

 $10.6 \, \mu m \, 30 \, W$

パワー 100%

スピード 10 mm/sec

回数 1回

全く跡が残らず×

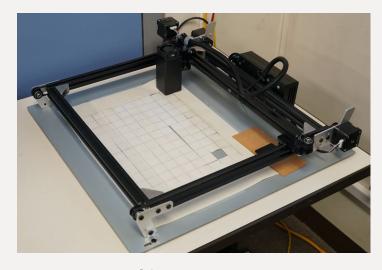




結果



Smart DIYs社 LM110F (国立天文台)



Smart DIYs社 FABOOL Laser Mini (国立天文台)



創新テック社 HSG-Z4030 (宇宙科学研究所)

エリア	△一番小さいもののみ		
歪み	×	-	
繰り返し		-	
加工可否		×	×

m **z** 25





LM110Fでの加工の課題 (1/2)

 そもそも、彫刻用で精度が求められる 一加工用途ではない。精度はでるのか? ガルバノ方式であるため、 場所によって像の歪みがある。 指定した寸法と仕上がりの寸法の乖離がある。



最初		目標値	測定		
			左端	右端	
上	幅	10.0	10.377	10.458	
中	幅	10.0	10.400	10.401	
下	幅	10.0	10.402	10.322	



•	紙に出力し、光学顕微鏡による寸法測定で
	確認したところ、寸法をそのまま入力すると
	0.5 mmほど大きく加工された

- 1回の加工で、3枚に切るにとどめ、 それぞれ目標値になるように データ上の寸法を調整した(出たとこ勝負)
- 寸法0.1 mm以内に入れることができた 繰り返し精度も良好だった

調整後		目標値	測定		
			左端 右端		
上	幅	10.0	9.940	9.953	
中	幅	10.0	9.940	9.934	
下	幅	10.0	9.965	10.033	

紙でのテスト加工における実測寸法(光学顕微鏡で測定)





LM110Fでの加工の課題 (2/2)

- グラファイトが薄く、浮いてしまい。 焦点がずれてしまう
- 加工した断面に粉末が付いているが何か? (エタノールでワイプするととれる)

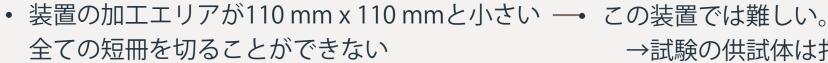




→ 3Dプリンタで抑え治具を 作り、浮かないようにした



グラファイト積層体に含まれる 樹脂が焦げたものだと考えている (特許情報より)



→試験の供試体は打ち抜き加工で製作することに

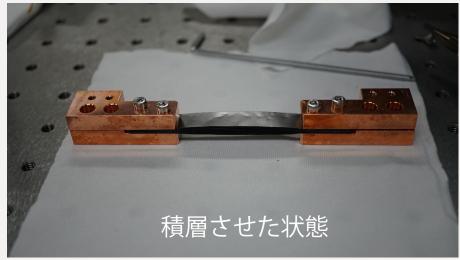
…が、打ち抜き加工品が届くまで時間がある 供試体をLM110Fで作成することになった





グラファイトに対しての加工結果





		目標値	測定		
			中央	左端	右端
上	幅	10.0	9.960		
	穴間隔	60.0	59.954		
	穴の位置A	2.6		2.528	2.613
	穴の位置B	10.0		10.062	9.945
中	幅	10.0	9.920		
	穴間隔	60.0	59.970		
	穴の位置A	2.60		2.690	2.563
	穴の位置B	10.0		10.012	10.009
下	幅	10.0	9.980		
	穴間隔	60.0	60.050		
	穴の位置A	2.60		2.693	2.618
	穴の位置B	10.0		9.902	9.995

グラファイトシートの加工後寸法(光学顕微鏡で測定)

グラファイトでも、紙で出した条件で 目標の寸法で加工できた





なぜCO₂レーザーで加工できなかったか?

放射率表 - 非金属 -

	波長に対する放射率 (=吸収率)					
物質名	約1 μm	約1.6 μm	約2.4 μm	3~5 μm	8~14 μm	備考
アルミナ AI2O3	0.30	0.30	0.30	0.40	0.60	
レンガ 赤	0.80	0.80	0.80	0.93	0.90	
レンガ 白耐火	0.3	0.35			0.80	
レンガ シリカ	0.55	0.60			0.80	
レンガ シリマナイト	0.60	0.60			0.60	
マグネサイト(炭酸マグネシウム鉱)			0.60			
アスベスト	0.90	0.90		0.90	0.85	
アスファルト	0.85	0.85		0.90	0.85	
玄武岩				0.7	0.95	
カーボン すす	0.95	0.95		0.95	0.95	
カーボン グラファイト	0.85	0.85	0.85	0.85	0.80	
ガラス 厚さ3mm				0.96/5 μ		
炭化珪素				0.9	0.9	

https://www.fintech.co.jp/etc-data/housharitsu.htm

- 出力も30Wと十分あった
- ネットに載っている吸収率一覧を見る限り CO_2 レーザー波長に対するグラファイトの 吸収率は低くない
 - 8~14 µmと広い範囲の情報
 →10 µmのところだけ局所に吸収率低い?
 →文献探し中
 - 表面をコーティングしていて反射する?→メーカーに問い合わせ:コーティングはしていない
 - メーカーグラファイトシートの輻射率測定結果 0.3

• 熱拡散率に波長依存ある?





まとめ

- レーザーマーカーは、簡単に文字や刻印を入れられる加工装置
- グラファイトの加工もファイバーレーザーであれば可能

みんなもつかおう!





参考文献

• レーザー学会編:レーザーハンドブック第2版(Web版), 平成17年4月25日発行

 カネカ. 森川 尚展、「加工グラファイト積層体、その製造方法および加工グラファイト積層体用レーザー切断装置」, 特許公報(B2) 6896873、2021年6月30日
 https://ipforce.jp/patent-jp-B9-6896873